

2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月9日

上場会社名 工藤建設株式会社 上場取引所 東
コード番号 1764 URL <http://www.kudo.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役（氏名）工藤 英司
問合せ先責任者（役職名）執行役員経営管理部長（氏名）玉谷 博（TEL）045-911-5300
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年6月期第1四半期の業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	4,642	1.5	57	△27.5	40	△23.0	20	△20.0
2023年6月期第1四半期	4,575	27.5	79	—	52	—	26	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	16.74	—
2023年6月期第1四半期	20.74	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	15,638	4,622	29.6
2023年6月期	14,655	4,705	32.1

（参考）自己資本 2024年6月期第1四半期 4,622百万円 2023年6月期 4,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,778	6.1	371	11.3	255	△16.9	161	18.5	128.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、社内の業績管理を通期ベースで実施いたします。従って、業績予想についても通期で開示しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期1Q	1,331,220株	2023年6月期	1,331,220株
2024年6月期1Q	82,795株	2023年6月期	80,795株
2024年6月期1Q	1,249,575株	2023年6月期1Q	1,260,376株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが「5類感染症」へ移行し、社会経済活動の正常化が進む中、個人消費や企業による設備投資の持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復傾向が継続しました。一方で、世界的な金融引締めが続く中、円安や物価上昇による家計や企業への影響、長引くウクライナ情勢や金融資本市場の変動等による下振れリスクを注視する必要があり、当社を取り巻く経営環境の不透明な状態が続いております。

建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移しており、建設投資についても徐々に持ち直しの傾向が見受けられるものの、資材価格の高騰等による影響もあり、今後も建設需要やニーズの変化に対してより一層注視が必要な状況が続いております。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は、持家及び分譲住宅の着工においてはこのところ弱含んでおり、貸家は底堅い動きとなっておりますが、資材価格の高騰や調達難により、建築コストの上昇が続いております。

介護業界におきましては、高齢化率の上昇等に伴い、社会インフラとしてサービスの安定供給が一層高まる中、介護事業者については、有効求人倍率が高い数値で推移しており、引き続き介護人材の確保と組織づくりが介護事業者の課題となっております。

このような情勢の中、当社は、神奈川・東京を中心とした営業エリアにおいて、お客様の感動を創造し、人生のさまざまなステージを支える生活舞台創造企業を目指して事業展開を図ってまいりました。

この結果、第1四半期累計期間における業績は、売上高46億42百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益57百万円（前年同期比27.5%減）、経常利益40百万円（前年同期比23.0%減）、四半期純利益20百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<建設事業>

売上高は、前年同期に比して完成工事の増加により、22億90百万円（前年同期比3.1%増）となり、営業利益は57百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

<不動産販売事業>

不動産販売部門に係る売上は仲介手数料のみとなりました。

<建物管理事業>

売上高は、手持ち大規模修繕工事の減少により、8億75百万円（前年同期比7.5%減）となり、資材価格の高騰により営業利益は49百万円（前年同期比46.0%減）となりました。

<介護事業>

売上高は、入居率の向上により、14億73百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は95百万円（前年同期比72.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、156億38百万円(前事業年度末残高146億55百万円)となり9億83百万円増加しました。その主な要因は、完成工事未収入金等が6億63百万円、不動産事業支出金が1億93百万円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、110億15百万円(前事業年度末残高99億49百万円)となり10億65百万円増加しました。その主な要因は、短期借入金が5億80百万円、長期借入金が3億69百万円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、46億22百万円(前事業年度末残高47億5百万円)となり82百万円減少しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、現時点では2023年6月期決算発表時(2023年8月10日)に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,160,474	2,322,851
完成工事未収入金等	3,688,161	4,351,410
未成工事支出金	64,634	42,732
不動産事業支出金	52,273	245,595
貯蔵品	34,837	39,772
その他	474,333	448,000
貸倒引当金	△12,137	△14,847
流動資産合計	6,462,577	7,435,515
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,945,680	1,945,680
その他(純額)	1,233,283	1,204,366
有形固定資産合計	3,178,963	3,150,046
無形固定資産		
無形固定資産合計	70,302	85,546
投資その他の資産		
差入保証金	4,054,587	4,100,070
その他	896,011	874,738
貸倒引当金	△7,212	△7,348
投資その他の資産合計	4,943,386	4,967,460
固定資産合計	8,192,652	8,203,052
資産合計	14,655,229	15,638,568
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	1,246,493	1,034,151
短期借入金	2,040,000	2,620,000
1年内返済予定の長期借入金	514,732	599,880
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	100,491	13,527
未成工事受入金	353,717	726,738
完成工事補償引当金	51,307	52,493
賞与引当金	108,563	83,096
転貸損失引当金	24,300	24,468
その他	1,253,968	1,319,406
流動負債合計	5,713,573	6,483,761
固定負債		
長期借入金	1,111,997	1,481,974
預り保証金	2,476,269	2,424,481
転貸損失引当金	64,811	59,707
その他	583,319	565,755
固定負債合計	4,236,397	4,531,918
負債合計	9,949,971	11,015,679

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,500	867,500
資本剰余金	549,500	549,500
利益剰余金	3,423,287	3,319,165
自己株式	△172,050	△172,076
株主資本合計	4,668,236	4,564,089
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,022	58,798
評価・換算差額等合計	37,022	58,798
純資産合計	4,705,258	4,622,888
負債純資産合計	14,655,229	15,638,568

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高		
完成工事高	2,526,974	2,526,088
不動産事業等売上高	640,522	642,759
介護事業売上高	1,407,540	1,473,880
売上高合計	4,575,037	4,642,728
売上原価		
完成工事原価	2,205,534	2,239,242
不動産事業等売上原価	531,781	541,770
介護事業売上原価	1,301,675	1,330,453
売上原価合計	4,038,992	4,111,466
売上総利益		
完成工事総利益	321,439	286,846
不動産事業等総利益	108,740	100,989
介護事業総利益	105,865	143,427
売上総利益合計	536,045	531,262
販売費及び一般管理費	456,957	473,932
営業利益	79,087	57,330
営業外収益		
受取利息	1,014	993
受取配当金	3,960	7,128
助成金収入	—	4,884
その他	2,248	1,535
営業外収益合計	7,223	14,541
営業外費用		
支払利息	22,465	22,411
その他	11,720	9,344
営業外費用合計	34,186	31,756
経常利益	52,125	40,115
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	52,125	40,115
法人税、住民税及び事業税	5,840	4,174
法人税等調整額	20,144	15,020
法人税等合計	25,985	19,194
四半期純利益	26,139	20,920

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	不動産 販売事業	建物管理 事業	介護事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	203,394	—	207,545	50,762	461,702	—	461,702
一定の期間にわたり移転 される財	2,017,712	—	246,522	1,355,278	3,619,513	—	3,619,513
顧客との契約から生じる 収益	2,221,107	—	454,068	1,406,040	4,081,216	—	4,081,216
その他の収益	—	—	492,321	1,500	493,821	—	493,821
外部顧客への売上高	2,221,107	—	946,389	1,407,540	4,575,037	—	4,575,037
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,221,107	—	946,389	1,407,540	4,575,037	—	4,575,037
セグメント利益	66,977	—	92,430	55,435	214,844	△135,756	79,087

(注) 1. セグメント利益の調整額△135,756千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	不動産 販売事業	建物管理 事業	介護事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	188,550	2,740	173,370	56,240	420,902	—	420,902
一定の期間にわたり移転 される財	2,102,205	—	209,641	1,416,139	3,727,987	—	3,727,987
顧客との契約から生じる 収益	2,290,755	2,740	383,012	1,472,380	4,148,889	—	4,148,889
その他の収益	—	—	492,339	1,500	493,839	—	493,839
外部顧客への売上高	2,290,755	2,740	875,351	1,473,880	4,642,728	—	4,642,728
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,290,755	2,740	875,351	1,473,880	4,642,728	—	4,642,728
セグメント利益	57,475	2,709	49,920	95,429	205,533	△148,202	57,330

(注) 1. セグメント利益の調整額△148,202千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。